

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和8年4月10日

団体所在地 世羅郡世羅町大字小国 4495-1
団体の名称 世羅町立せらにし保育所
職・氏名 係長 波田 美子

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)

- ・チューリップ徒歩（消防署）行く
- ・近くの八幡神社や広場へ散歩(七草探し・草花
つみ)
- ・菜園活動（畑作り・苗植え）
- ・あぜ道散歩（めだか・おたまじゃくしを見つ
ける）
- ・裏山あそび

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)

- ・菜園活動(収穫)
- ・どろんこ遊び
- ・プール・水遊び・植物色水遊び
- ・虫探し・虫捕り
- ・山探検（大平寺方面）
- ・笹の葉運び（七夕かざり用）

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)

- ・裏山あそび（ドングリなどの木の実拾い・木
の枝・葉っぱで遊ぶ・山で見つけたものでア
レンジメント・リース作り・ケーキ作り・タ
ーザンロープ・ロープ・ハンモック・木登り・
木の実ころがし・お面作りなど・紅葉狩りお
やつ・11月誕生会）
- ・小枝集め→焚火（焼き芋パーティー）
- ・夢公園に遠足（芝滑り・どんぐり拾い）
- ・自然保育参観日 浦田愛先生

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)

- ・雪遊び（裏山そり滑り・雪玉作り・雪合戦・
雪だるま・雪でままごと
- ・たこあげ
- ・裏山あそび（「春見つけ」 ふきのとう・よも
ぎ・つくしなど）
- ・焚火（ダッチオーブンでパン作り3回・飯盒
炊飯・じゃがいものホイル焼き）
- ・自然保育アドバイザー研修（焚火）石井千穂先生

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

【焚火クッキング】

保育所で育てたじゃがいもを収穫する。大きかったり小さかったりするじゃがいもを土の中にまだ残っていないか探すのも楽しい活動だった。今年度初めての焚火クッキングは、6月の誕生会の日に飯盒炊飯とじゃがいものホイル焼きに挑戦。年中児はファイヤーピットに薪を運んで木を組む作業に意欲的だった。子どもたちからの気づきや意欲的な姿を見て、保育士は「経験を重ねると自分たちで下準備もできるようになるんじゃないかな」と期待が持てた活動だった。

「あつあつのおイモ～」 「熱いけどうまい！」とKくん。ほんの少し塩をふってフーフーしながら、みんなで美味しくいただいた。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

【裏山で遊ぶ】

異年齢児保育（裏山へ行きお地蔵様に挨拶。その後好きな遊びを見つける。）

地面に落ちているどんぐり探しに夢中の年少児Sくん。竹置き場へ行き竹を運んできて傾斜に置き転がそうとするが、なかなか転がってくれない。そこへ年長児Dくんが通りがかり、その様子をしばらく見ていたあと、「もしかしてこうやったら転がるんじゃない？」と竹を持ち上げ傾斜をつける。コロコロ転がるとS君も笑みを浮かべる。うまくどんぐりがつかめない時は傾斜を無くして、塩梅を見るDくん。言葉数は少ないが2人が心を通わせて遊ぶ姿に保育士も成長を感じながら見守っていた。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

【12月2日自然保育参観日】

講師：浦田愛（あいあい）先生【ほしはら山の学校】

あいあいと裏山や神社付近を探索する。
椿の葉で作る笛、蜘蛛の巣の模様に似た歯型になる葉っぱ、もみじの葉っぱでシャワー、大きな顔形の葉っぱで宝探し、すすきやカラフルな葉っぱでお面作りなど自然物を使った遊びを親子でしっかり楽しんだ。

保育所への帰り道、道路脇にナワシロいちごがたくさんなっていて、1歳児のAちゃんも溝をまたぎ、赤い実を上手に掴み、父と一緒に食べていた。児童も保護者も笑顔がたくさんみられ、参観日の最後はみんなで焚火を囲んであいあいと一緒に歌ったり、焼きマシュマロをしたりと、体も心もお腹も満腹になった参観日だった。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

【自然保育アドバイザー研修（職員研修）】

講師：石井千穂先生【森のようちえんまめとっこ】

保育士と3歳以上児で参加する。まずは裏山へ行き、焚火に使う木を集める。途中、木の枝で竹を叩き「たき火」のうたで演奏会もする。杉の葉もたくさん持ち帰った。石井先生にいろいろな着火の方法（マグネシウム・ファイヤースターター・電池とアルミなど）を教わる。保育士も子どもたちも釘付けになり着火の様子を見守る。電池とアルミで着火したときは大きな歓声があがった。その後3グループに分かれ、各々で考えてレンガでファイヤーピットを作り、苦戦しながら火をおこし、飯盒炊飯に挑戦した。水の分量や火の強さの違いで、ふっくら、もちもち、しゃっきりのご飯がたけた。どのグループも美味しいご飯がたけた。

今回の研修で、自然遊びはみんなで悩み考え知恵を出し合い協力して楽しむことで、より探求心、コミュニケーション能力、達成感、など培われていくものだと言った。大人もしっかり楽しむ！のも重要だとわかった。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について
自然保育アドバイザーの先生に来ていただき、自然遊び（焚火・山遊び）の研修を受けた。
- ・ 地域との関わりについて
地元の J A 女性部の方と一緒に、菜園活動（苗植え・収穫）に取り組んだ。
- ・ 保護者との関わりについて
保育参観日に自然保育参観を実施。保護者の方も自然遊びと一緒に体験してもらった
- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	
-------	--